

4月27日 土

▶ 5月12日 日

[開館時間] 9:00~16:30

[休館日] 月曜日

入館料無料

五月人形やこいのぼり、郷土玩具を展示します。

季節展示

神栖市歴史民俗資料館

端午の節句展

たんご

せっく



# 端午の節句展

4月27日(土) ▶ 5月12日(日)

「こどもの日」として親しまれている毎年5月5日は、「端午の節句」とも呼ばれ、男子の健やかな成長を願って五月人形が飾られ、柏餅を食べたり、菖蒲の葉をお風呂に浮かべる習慣が広く根付いています。

本展では、市民の方々から寄贈された五月人形を中心に、端午の節句にちなんだ全国各地の郷土玩具や凧などの収蔵品を紹介します。

館内ロビーでは、迫力ある大型の鯉のぼりをご覧いただけるとともに、こどもの日にちなんだ工作が楽しめる体験コーナーも開催します。

身近な行事の歴史とその魅力をあらためて感じるきっかけとなれば幸いです。



六角凧



端午の節句びな  
かなかんぶつ

武家社会では、武士に欠くことのできない甲冑を梅雨入り前に虫干しのために飾るようになりました。この虫干しが定着していくことになり、邪気を祓うとされる「菖蒲」と同じ響きの言葉である「勝負」や、武を重んじる「尚武」に通じていることから、男児が無事に成長し、強い立派な子になってほしいとの願いをこめ、男子の節句として広まっていきました。



紙鯉



チャグチャグ馬コ

## 常設展示のご案内

### 常設展示室

展示テーマ **水と人々の暮らし**

太古より鹿島灘、利根川の水と関わり、水の恵みを受けながら、鹿島港の建設など水辺の開拓で変遷してきた神栖市。その歴史を実物資料や模型、映像などで紹介しています。



縄文土器 深鉢  
(奥野谷貝塚出土)



地引網漁と干鰯の加工の模型

◀ 1885(明治15)年の神栖市を再現した地形模型



江戸時代の息栖神社と河岸の模型



江戸時代の神之池の模型

### 映像コーナー

神栖市の歴史や民話、文化財、祭りを、4台のモニターで紹介しています。

- 神栖市の歴史 ● 神栖市の文化財
- 神栖市の年中行事 ● 昔話アニメーション



### 民俗展示室

昭和30年頃まで使われていた農業や漁業、生活の道具を展示しています。



## 神栖市歴史民俗資料館

〒314-0144 茨城県神栖市大野原4-8-5  
TEL 0299-90-1234 FAX 0299-93-4055

